

強い日差しを受けてスタートした30キロマラソンの参加者たち



北海道新聞

発行所
北海道新聞
釧路支社
〒085-8655
釧路市黒金町11丁目5番1号
報道部 電話 0154・31・3550

ホームページ
www.hokkaido-np.co.jp

湿原マラソン 記念新聞

道新スポーツ

風に乗って快走! 快汗!

第40回釧路湿原マラソン

19種目に4120人登録

地元っ子は「暑い」



小学校3、4年で優勝した埼玉県宮竹くん

第40回釧路湿原マラソン(釧路市、釧路陸協、北海道新聞社など主催)は29日、釧路市民陸上競技場を発着点に開催されました。参加登録は、猛暑が続く道外からの358人を含む過去最高の4120人。4千人を突破したのは初めてです。海外からも台湾の3人が参加登録しました。参加者は雄大な湿原の光景を背に、夏風に乗って各コースを疾走しました。

3キロ、10キロ、30キロのマラソンと15キロ、30キロのウォークで男女年代別などの19種目が実施されました。参加登録者の最高齢は83歳。60代以上の登録は417人と今年も1割を占めました。

他種目にさきがけ30キロウォーク参加者が午前6時に出発し、この日快晴に恵まれ、午前9時の気温は25度と、釧路っ子にとってはやや暑い天候となった。

30キロマラソンには埼玉県庁職員の川内優輝選手が昨年が続いて出場。ロンドン五輪代表には惜しくも選ば

れませんでした。昨年12月の福岡国際マラソンでは日本人最高の3位になるなど活躍しました。開会式では「本州に比べれば走りやすい気候です。頑張りますよう。」とあいさつしました。

また10キロマラソンには釧路市の釧路走ろう会に所属する最上洋一さんが今年で連続40回目の出場。30キロマラソンでは日本製紙クレインズの選手がこやかに快走しました。

大会は市民やスポーツ少年団員、大学生ら約600人がボランティアとして給水や受付、救護、記録係などの役目を務め、大会を支えてくれました。

小学生・中学生のための **参加無料** 見学コースはA(10:30~)とB(11:15~)の2つがあります。

新聞の学校

新聞のすべてが見学できるプログラム

見学は4カ所
日本製紙釧路工場(鳥取)
道新総合印刷釧路工場(鳥取)
北海道新聞釧路支社(黒金町)
道新販売所(A鳥取・B黒)

お申し込み・詳しいお問い合わせは
下記(道新釧路支社販売部)まで

北海道新聞釧路支社 販売部 ☎(0154) 31-2719 お問い合わせの受付時間 9:30~17:30(平日のみ)

広々とした湿原の景色を背に歩く30キロウオーク参加者たち(18キロ付近)



KUSHIRO SHITSUGEN MARATHON

釧路湿原マラソン



写真館

「十分に体をほぐしてね。」スタート前に準備体操をする子どもたち



スタート地点で激励演奏する釧路のしすいりベルバンド



「釧路としては暑い天気となりましたね」とあいさつする川内選手



選手宣誓する釧路市の青山大さん(44)、妻の朋子さん(37)、長男の航正くん(11)、長女の玲那さん(10)



今年も参加した日本製紙クレインズの選手たち